

# 日本の成長を加速する「IPトランスフォーメーション(IPX)」：課題と解決のロードマップ

日本政府は2035年までに世界トップクラスのイノベーション国家を目指す「IPトランスフォーメーション (IPX)」を推進しています。AI時代への対応やコンテンツ産業の国際競争力など、知財分野の現状の課題と、それに対する官民の具体的な対応策を提示します。

## 成長を阻む3つの主要課題



### 生成AI時代に対する法制度の遅化

AIによる著作権侵害の判断基準や、AI発明の権利課題のあり方が未だ不明確です。



### コンテンツ産業の収益モデルの陳腐化

海外売上5.8兆円一方で、低利益率なライセンス依存に陥り、制作側への還元が不足しています。



### 国際標準化・SEP戦略における劣勢

5G/6G等の先端分野で、自社技術を国際標準に組み込む標準（SEP）が欧米圏中に遅れています。

## 価値創造大国への3つの処方箋



### AI時代の知財ルール の早期整備

学習データの利用ガイドライン策定や、国際的な議論を主導し、重視基準を明確化します。



### 「コンテンツ海外展開 2.0」への移行

D2Cプラットフォーム機能や直販の強化により、クリエイターへの適切な還元を目指します。



### 知財経営と 経済安全保障の強化

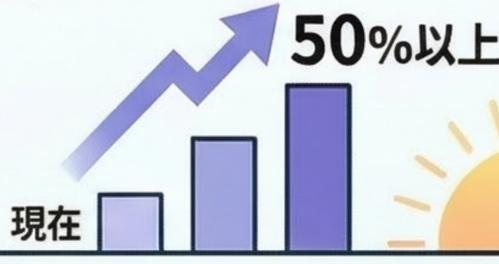
中小企業へのIPファイナンス挑戦と、サプライチェーン全体での緩衝策防止体制を構築します。

## 2035年までの野心的な数値目標（知的財産推進計画2025）

WIPOグローバル  
イノベーション指数：  
世界4位以内



国内主要企業の  
降価総額に占める  
無形資産割合：  
50%以上



コンテンツ産業の  
海外売上高：20兆円

